



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年7月25日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東  
 コード番号 6730 URL https://www.axell.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 植野 悦匡 TEL 03-5298-1670  
 ゼネラルマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	724	△49.5	△1,258	—	△1,247	—	△871	—
2018年3月期第1四半期	1,434	△15.4	△316	—	△311	—	△136	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△77.88	—
2018年3月期第1四半期	△12.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	10,995	10,455	95.1	934.60
2018年3月期	13,035	11,418	87.6	1,020.67

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 10,455百万円 2018年3月期 11,418百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,200	△35.1	△1,600	—	△1,600	—	△1,100	—	△98.32
通期	6,300	△25.7	△1,450	—	△1,450	—	△1,050	—	△93.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期1Q	11,187,749株	2018年3月期	11,187,749株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	152株	2018年3月期	152株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期1Q	11,187,597株	2018年3月期1Q	11,187,597株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(第1四半期累計期間) .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(追加情報) .....	5
3. その他 .....	6
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	6
(2) 最近における四半期毎の業績の推移 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善がみられるとともに、個人消費も持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が持続いたしました。しかしながら、世界経済の不確実性が一層増大していることに加え、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、レジャーの多様化や近年の依存症対策を目的とした業界団体による自主規制の影響等により、遊技人口は減傾向を示すなど厳しい市場環境が続いております。さらには本年2月に改正された「風適法施行規則等」の影響も重なり、先行きの不透明さから遊技ホールの新台購入意欲は低迷しており、足元の市場環境は一層厳しさが増しております。

かかる環境の中で当社は、引き続きパチンコ・パチスロ機市場に向けた各種製品に加え、組み込み機器市場(注)に向けたグラフィックスLSIの販売活動に注力いたしました。また、新規事業の確立を目指しミドルウェア、暗号技術、機械学習の3領域における事業化に向けた活動にも注力いたしました。なお、暗号技術に関連してブロックチェーン事業への参入を決定しており、2018年7月2日付けにて同事業を推進する100%出資子会社「株式会社VIPPOOL」を設立いたしました。

当第1四半期累計期間の売上高は前年同四半期比709百万円減(同49.5%減)となる724百万円となりました。

パチンコ・パチスロ機市場に向けた各種LSI製品は、前年同四半期比719百万円減(同51.8%減)となる669百万円の売上高となっております。主力製品である同市場向けグラフィックスLSIは、低迷する市場環境に加え、一時的な市場在庫の調整や当社製品をはじめとする部材のリユース(再利用)増加の影響を受け、前年同四半期比約11万個減の約3万個の販売にとどまりました。同市場に向けたその他製品(LEDドライバLSI、メモリモジュール製品等)は、前年同四半期比ほぼ横ばいでの推移となりました。

組み込み機器市場向けグラフィックスLSIは、当社製品採用メーカー各社の需要動向により、前年同四半期比14百万円増(同56.6%増)となる40百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板、その他ミドルウェア製品等のその他製品は、前年同四半期比4百万円減(同23.6%減)となる15百万円の売上高となりました。

売上総利益は売上高の減収に伴い前年同四半期比347百万円減(同57.4%減)となる257百万円、売上総利益率は前年同四半期比6.6ポイント低下となる35.6%となっております。売上総利益率の低下は主に販売製品の構成比率の変動によるものです。販売費及び一般管理費は、全般的な経費削減に努めましたが、次世代主力製品に係る試作開発費の一部を計上したこと等により、前年同四半期比594百万円増(同64.5%増)となる1,516百万円となりました。販売費及び一般管理費のうち研究開発費は、前年同四半期比577百万円増(同81.8%増)となる1,283百万円となっております。なお、次世代主力製品に係る開発費用は、当第1四半期において概ね収束しており、第2四半期以降の研究開発費は減少傾向を示すものと考えております。

以上により、営業損失は1,258百万円(前年同四半期は営業損失316百万円)、経常損失は1,247百万円(前年同四半期は経常損失311百万円)、四半期純損失は871百万円(前年同四半期は四半期純損失136百万円)となりました。

(注)「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で2,039百万円減少となる10,995百万円(前事業年度末比15.6%減)となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(782百万円)、商品及び製品の増加(525百万円)に対し、売掛金の減少(3,023百万円)等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で1,076百万円減少となる539百万円(前事業年度末比66.6%減)となりました。主な要因は、買掛金の減少(1,015百万円)等によるものであります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で962百万円減少となる10,455百万円(前事業年度末比8.4%減)となりました。主な要因は、利益剰余金の減少(927百万円)等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想は、2018年4月25日に開示いたしました「2018年3月期 決算短信」に記載のとおりであります。なお、当事業年度におきましては、規則改正の影響や研究開発費の計上時期等から下期偏重型の業績計画となっており、当第1四半期累計期間の業績は、概ね計画通りに推移しているものと分析しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,868	7,650
売掛金	3,304	280
商品及び製品	480	1,006
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	825	164
流動資産合計	11,479	9,102
固定資産		
有形固定資産	266	241
無形固定資産	32	28
投資その他の資産	1,256	1,623
固定資産合計	1,556	1,892
資産合計	13,035	10,995
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,344	329
未払法人税等	43	2
その他	193	172
流動負債合計	1,580	503
固定負債		
資産除去債務	35	35
固定負債合計	35	35
負債合計	1,616	539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	9,398	8,470
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,278	10,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140	104
評価・換算差額等合計	140	104
純資産合計	11,418	10,455
負債純資産合計	13,035	10,995

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	1,434	724
売上原価	829	466
売上総利益	604	257
販売費及び一般管理費	921	1,516
営業損失(△)	△316	△1,258
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	2
為替差益	0	8
その他	0	0
営業外収益合計	5	11
営業外費用		
その他	—	0
営業外費用合計	—	0
経常損失(△)	△311	△1,247
特別利益		
投資有価証券売却益	64	—
特別利益合計	64	—
税引前四半期純損失(△)	△246	△1,247
法人税等	△109	△375
四半期純損失(△)	△136	△871

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	
	(百万円)	前年同四半期比 (%)
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	1,884	132.2
組み込み機器向けLSI製品	29	△31.7
その他	12	△41.9
合計	1,925	119.9

(注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第1四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	1,214	△41.5	1,962	8.7
組み込み機器向けLSI製品	66	389.4	67	111.0
その他	18	△10.6	9	409.0
合計	1,299	△38.4	2,038	10.9

(注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	
	(百万円)	前年同四半期比 (%)
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	669	△51.8
組み込み機器向けLSI製品	40	56.6
その他	15	△23.6
合計	724	△49.5

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 最近2事業年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
緑屋電気株式会社	1,050	73.2	352	48.6
岡谷エレクトロニクス株式会社	287	20.1	127	17.6
富士通エレクトロニクス株式会社	59	4.2	116	16.1
加賀電子株式会社	9	0.7	97	13.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

2019年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2018年4月～ 2018年6月	第2四半期 2018年7月～ 2018年9月	第3四半期 2018年10月～ 2018年12月	第4四半期 2019年1月～ 2019年3月
売上高	724	—	—	—
売上総利益	257	—	—	—
営業利益又は営業損失(△)	△1,258	—	—	—
経常利益又は経常損失(△)	△1,247	—	—	—
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△1,247	—	—	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△871	—	—	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△77.88円			—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,995	—	—	—
純資産	10,455	—	—	—
1株当たり純資産	934.60円	—	—	—

2018年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2017年4月～ 2017年6月	第2四半期 2017年7月～ 2017年9月	第3四半期 2017年10月～ 2017年12月	第4四半期 2018年1月～ 2018年3月
売上高	1,434	1,953	1,225	3,864
売上総利益	604	747	527	1,261
営業利益又は営業損失(△)	△316	20	△150	602
経常利益又は経常損失(△)	△311	22	△143	596
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△246	21	△281	684
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△136	12	△21	225
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△12.20	1.14	△1.90	20.15
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,608	11,715	11,798	13,035
純資産	11,172	11,221	11,245	11,418
1株当たり純資産	998.62円	1,002.98円	1,005.19円	1,020.67円